

「桐生市行政改革方針」実施計画に係る進捗状況及び効果額について【令和3年度】

○R3 進捗状況

No	実施施策	実施計画における取組内容	主担当課	R3 進捗状況 (担当課)
1	行政評価制度の活用による事務事業の見直し	(1)評価結果を予算に反映させるマネジメントサイクルの確立 (2)評価方法の簡素化及び事務の効率化	・DX推進室	B
2	定例業務の見直し、民間委託等の推進	(1)「トップランナー方式」における対象業務の民間委託	・人材育成課 ・教育総務課	C
		(2)「公共サービス改革基本方針」における窓口業務の民間委託	・税務課 ・納税課 ・市民課	
		(3)他市の先進事例を踏まえた業務の民間委託	・魅力発信課 ・人材育成課 ・税務課 ・健康長寿課	
3	柔軟かつ簡素で効率的な組織体制の構築	(1)簡素かつ効率的な組織体制の構築 (2)支所、行政連絡所のあり方の検討 (3)係制から担当制への移行 (4)プロジェクト・ワーキンググループの活用 (5)全庁的な応援体制の構築	・総務課、 人材育成課	C
4	適正な定員管理の推進	(1)職員数の削減 (2)退職者の補充抑制 (3)臨時職員、非常勤職員及び再任用職員の活用	・人材育成課	A
5	ICTを活用した効率的、効果的な行政経営の推進	(1)マイナンバーカードによるコンビニ交付及び自動交付システム導入の検討 (2)申請や届出などのオンライン化 (3)情報公開請求の多い情報のオープンデータ化	・DX推進室	B
6	公共施設の民間活力の導入、統廃合及び民間移管	(1)民間活力による運営を検討する施設	・市民課 ・青少年課 ・公園緑地課 ・黒地城振興整備課 ・図書館	B
		(2)統廃合及び民間移管を検討する施設	・子育て支援課、 教育総務課、 学校教育課	
7	自治組織、NPO法人及び民間団体との協働の更なる推進	(1)自治組織、NPO法人等との協働による地域コミュニティの推進	・地域づくり課	B
8	人材育成の更なる推進	(1)人事評価結果の給与等への反映 (2)研修効果の検証 (3)自己啓発の支援 (4)先進都市行政視察研修の活用と政策の立案 (5)幹部職員の早期育成 (6)特定の業務に精通し、習熟した専任職(エキスパート)の育成	・人材育成課	B

No	実施施策	実施計画における取組内容	主担当課	R3 進捗状況評価 (担当課評価)
9	働き方の見直しによる時間外勤務の縮減	(1)職員の働き方の見直し (2)時間外勤務発生の要因分析と改善策の推進	・人材育成課	B
10	市税等の収入の確保	(1)口座振替の利用推進 (2)納めやすい環境の整備推進	・納税課	A
11	使用料・手数料の見直し	(1)統一的な基準の策定 (2)算定方法の明確化 (3)定期的な見直し (4)コスト削減の努力 (5)施設の管理運営に係る収支の公開	・財政課	C
12	桐生が岡遊園地・動物園の新たな収益の確保	(1)入園料・駐車場料金の徴収の検討 (2)公募設置管理制度の導入 (3)ふるさと納税の活用 (4)クラウドファンディングの導入 (7)施設内での広告活用	・公園緑地課	B
		(5)地場産品等の販売 (6)オリジナル商品の販売 【研究】 (1)入園者のまちなか回遊促進策の研究	・公園緑地課 ・商工振興課 ・観光交流課 ・農林振興課	
13	広告収入の更なる拡大	(1)ネーミングライツの導入	・スポーツ文化振興課 ・公園緑地課	B
		(2)イベントのスポンサー広告活用	・スポーツ文化振興課 ・青少年課	
		(3)施設での広告活用	・総務課 ・スポーツ文化振興課	
		(4)各種業務での広告活用	・財政課 ・図書館	
14	遊休資産の利活用や売却	(1)活用可能資産の活用の推進 (2)市有施設の民間への有料貸出の検討	・財政課	C
15	委託料の見直し	(1)委託業務内容の見直し (2)委託業務の仕様書の明確化と実績確認 (3)委託先の選定 (4)長期継続契約の採用	・契約検査課	B
16	補助金の見直し	(1)終期の設定・既得権の排除 (2)外部委員による検証・評価 (3)目的、効果の検証 (4)補助率・対象範囲等の明確化	・財政課	C
17	業務インフラの見直し	(1)市有バスに代わる民間バスの一時借上げの実施	・契約検査課	B
		(2)複合機(コピー、プリンター機能)への変更	・DX推進室	
		(3)電算システム業務の見直し		

[進捗状況評価] A：計画以上、B：計画どおり、C：計画より遅れている

OR3 効果額

(単位：万円)

No	実施施策	目標効果額 上段：R3 (下段：累積)	R3 効果額	R3 取組内容
1	行政評価制度の活用による事務事業の見直し	—	901 (4,791)	事務事業総合評価において、内部評価委員会を開催した。
2	定例業務の見直し、民間委託等の推進	7,344 (62,200)	540 (540)	学校用務員業務において、令和2年度末で退職した正規用務員1人を令和3年度に会計年度任用職員として任用した。
3	柔軟かつ簡素で効率的な組織体制の構築	594 (13,800)	187 (249)	令和3年4月1日付で、機構改革を実施。2係の削減となった。(累計3係減)
4	適正な定員管理の推進	20,160 (344,900)	32,400 (63,360)	職員数の削減 H30.4.1(基準) 1,090人 R3.4.1 1,044人 △46人 ※学校用務員△1人を含む
9	働き方の見直しによる時間外勤務の縮減	7,393 (108,600)	6,825 (21,434)	時間外勤務の削減 時間 金額 H29(基準) 116,941時間 2億7,279万円 R3 87,671時間 2億454万円 △29,270時間 △6,825万円
10	市税等の収入の確保	4,114 (47,100)	7,105 (17,179)	PayPay 請求書払いを導入。 口座振替利用促進として、窓口、電話催告での勧奨、訪問員による依頼書及びチラシのポストイン活動を行った。
11	使用料・手数料の見直し	—	262 (262)	統一的な新基準を策定中のため、全体の効果額の算出は出来ないが、R2年度に新施設(体育館、陸上競技場)の使用料の見直しを行った。
12	桐生が岡遊園地・動物園の新たな収益の確保	—	0 (160)	(遊園地)「子どもの育成に関する取組」(子ども基金)にて募集 (動物園)「桐生が岡動物園事業」、「100周年事業」(レッサーパンダ舎)にて募集
13	広告収入の更なる拡大	1,100 (9,600)	1,814 (2,227)	ネーミングライツの導入 ・桐生が岡遊園地 ・桐生が岡動物園 ・市民文化会館 ・市民体育館 ・桐生球場 ・陸上競技場 図書館雑誌カバーに対する広告の活用 公用封筒掲載など

No	実施施策	目標効果額 上段：R3 (下段：累積)	R3 効果額	R3 取組内容
14	遊休資産の利活用や売却	959 (10,800)	△780 (△175)	遊休資産の公売 H29(基準) 4,796 万円 R3 4,016 万円 △780 万円
16	補助金の見直し	5,666 (68,000)	0 (0)	補助金の適正化ガイドラインについては、コロナ禍で市民生活に多大な影響が生じているため、昨年度に引き続き、本格運用は見送りとなっている。
	計	R3 年度目標 47,330 全体累積額 (711,100)	49,254 (110,027)	R3 目標効果額に対する達成率 104.1% 全体目標累積額に対する進捗率 15.5%